

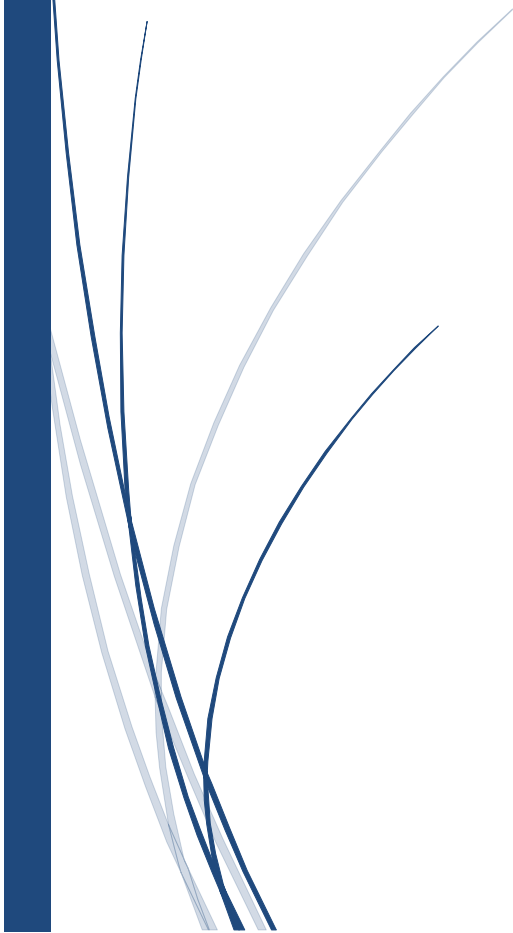


令和7年度

板橋グリーンカレッジ

大学校2年生（聴講生）

講座一覧（後期）



後期受講のご案内

1 後期について

後期は、前期と同様に3講座を受講いただきます。

講座一覧（後期）をご覧ください、下記のとおり履修届をご提出ください。

※聴講生の講座終了後は、卒業レポートの提出及び卒業式への出席は必要ございません。

2 履修届の提出について

(1) 履修届の作成

講座一覧に掲載の9講座の中から、受講希望の順位を1～9位までご記入ください。

※定員を超えた講座は抽選となります。上位の希望が外れる場合があることをご了承ください。

(2) 提出期間

令和7年8月2日（土）～8月29日（金）まで

(3) 提出方法

電子申請またはグリーンカレッジホールへの郵送（直接提出も可）

【電子申請の場合】

右記QRコードから、申込フォームにご入力ください。

【紙で提出される方】

郵送させていただきました履修届様式へご記入の上、グリーンカレッジホールへご提出ください。



(4) 結果通知

結果については、9月中旬～下旬ごろにグリーンカレッジホールHPにて公開いたします。

3 受講にあたっての注意事項

- (1) やむを得ない事情により、日程、内容等を変更することがあります。
- (2) 講義でテキストを用いる際などは、受講料以外の実費を負担いただく場合があります。
- (3) 住所等が変更になる場合は、必ず問合せ先までご連絡ください。

4 お問合せ・お申込み先

板橋区グリーンカレッジホール

〒174-0056 板橋区志村 3-32-6 ☎ 03-3960-7701

令和7年度 板橋グリーンカレッジ大学校2年生 講座一覧（後期）

ねらい:2年生では、生涯学習を促進する多種多様なテーマについて、より専門的な内容を学び、教養を深めます。

会 場:グリーンカレッジホール(志村3-32-6)3階 教室1

講座番号	科目	日時	テーマ・講義内容	講師
1	芸術	10月10日(金) 10:00～11:30 10月17日(金) 10:00～11:30 10月24日(金) 10:00～11:30	芸術をどう見（魅）せるか ～パリの美術館をめぐる～ 芸術の都として知られるパリには、ルーヴルやオルセーだけではなく、知られざる魅力を秘めた美術館がたくさんあります。歴史あるコレクションを現代の鑑賞者にどう見（魅）せるのか。アートと展示の新たな関係性が、さまざまな企画展で模索されています。美術館を通して、モードや建築、ジャポニスムの美しさを柔軟に受け入れてきたフランスの美術史について考えてみましょう。 ●10月10日:イヴ=サン・ローランからルーヴルへ:美術とモードの融合 ●10月17日:コレクターの秘密:知られざる邸宅美術館 ●10月24日:マネ、モネ、ロダン、ゴッホ…:パリにわたった日本美術	青山学院大学 文学部 フランス文学科 教授 ふくだ みゆき 福田 美雪
2	絵本	10月17日(金) 14:00～15:30 10月28日(火) 14:00～15:30 11月7日(金) 14:00～15:30	大人も楽しむ絵本特論 最近では、絵本の世界を楽しむ大人も増えてきました。絵本は、子どもはもちろん大人も楽しめる文化財です。絵本を楽しむ大人は、絵本のどんなところに魅了されているのでしょうか。絵本はどんな思いで作られているのでしょうか。絵本は人生にどのような意味をもたらすのでしょうか。本講座では、大人が絵本に夢中になる魅力を読み解きます。 ●10月17日:人生のなかに、絵本を ●10月28日:想いを編む～絵本にまつわるエピソード ●11月7日:絵本を味わう、幸せ時間。	東京家政大学 家政学部児童学科 教授 おざき つかさ 尾崎 司
3	福祉	10月21日(火) 10:00～11:30 10月28日(火) 10:00～11:30 11月4日(火) 10:00～11:30	福祉と防災 災害被害は、大地震などの規模×人口×社会の弱さ、で決まります。板橋区も被害を受ける首都直下地震では、どのようなことが起こるのでしょうか。また、災害時には、高齢者、障がい者など脆弱性の高い方が、大変に厳しい状況に追い込まれます。このため、自らの備え、地域の支えあい、そして福祉関係者の支援が重要になります。 ●10月21日:首都直下地震が発生した場合、社会はどのような被害を受けるか。被害を軽減するために、どんな準備が必要か。 ●10月28日:災害時に高齢者、障がい者、こども等を支える福祉はどうあるべきか。 ●11月4日:災害時に特に大切なのは、コミュニティの支えあいです。では、良好なコミュニティをつくるためにはどうすればよいか。	跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 まちづくり学科 教授 かぎや はじめ 鍵屋 一

講座番号	科目	日時	テーマ・講義内容	講師
4	板橋学	10月22日(水) 14:00～15:30 10月29日(水) 14:00～15:30 11月6日(木) 14:00～15:30	史料で読む近代の文化財、地域史 近代に生まれた比較的新しい時代の文化財を、私たちは如何に守り、活用したら良いのでしょうか。その第一歩は文化財の価値を客観的かつ実証的に知ることです。本講は史跡「陸軍板橋火薬製造所跡」を中心に、歴史資料の解説を通して近代の文化財を多角的に見つめ、それが描き出す地域史を考えます。 ●10月22日:総論:史跡の概要と歴史資料の特徴を学習します。 ●10月29日:火薬製造所の敷地拡大を史料で考えます。 ●11月6日:全体のまとめと近代文化財の展望。	板橋区生涯学習課 文化財係 すぎやま そうえつ 杉山 宗悦
5	健康	11月10日(月) 14:00～15:30 11月24日(月祝) 14:00～15:30 12月15日(月) 14:00～15:30	生活習慣病の予防 日本での主な死因疾患は、悪性新生物(がん)、心疾患、脳血管疾患です。これらは、食事、運動、喫煙、飲酒、睡眠など生活習慣と深く関係し、生活習慣病と呼ばれます。生活習慣病は死因となるばかりか、生活の質(QOL)を損ねる元になります。生活習慣病の予防を「より善く生きる」ための道標にしたいものです。 ●11月10日:生活習慣病の概念と変遷を把握しましょう。 ●11月24日:「一無二少三多」とは何を示すのでしょうか。 ●12月15日:疾患別に理解を深めましょう。	なかむらクリニック 院長 なかむら なおや 中村 直也
6	農業	12月8日(月) 10:00～11:30 12月15日(月) 10:00～11:30 12月22日(月) 10:00～11:30	サステナブルな社会への変革の中心的存在としての食と農を理解しよう サステナブルな社会への変革において、食と農の分野はかつてないほど世界的に注目されています。そのことを、近年のグローバルな議論をもとに知るとともに、食料生産の観点からは「生態系サービス支払」、食料消費の観点からは「倫理的消費」という概念を用いて、サステナブルな食と農を実現していく社会の仕組みづくりについて学びます。 ●12月8日:SDGs・気候変動・サミットといったグローバルなサステナビリティの議論と統計データから食と農の問題を概観します。 ●12月15日:サステナブルな食と農に変革する社会の仕組みづくりについて、環境経済学の重要な概念である「生態系サービス支払」の観点から学びましょう。 ●12月22日:消費者の取組からサステナブルな食と農に変革する「倫理的消費(エシカル消費)」について学びましょう。	東洋大学食環境科学部フードデータサイエンス学科 教授 たけだ まり 竹田 麻里

講座 番号	科目	日時	テーマ・講義内容	講師
7	生活史	12月16日(火) 10:00～11:30 12月23日(火) 10:00～11:30 1月20日(火) 10:00～11:30	生活史でふりかえる昭和時代 昭和という時代はいくつもの顔を持っています。昭和初期、占領期、そして東京オリンピック開催前の昭和 30 年代と、人々の生活は大きく変化しました。でも、食べて・働いて・遊んで、という視点でそれぞれの時代をふりかえると戦前と戦後のつながりが見えてくるかもしれません。 ●12月16日：昭和初期をつかむ：百貨店のインパクト&アメリカ大衆文化の流入 ●12月23日：占領期をつかむ：闇市、キャバレー、接收されたホテル群 ●1月20日：昭和 30 年代の暮らしと現在のレトロブーム	跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 観光デザイン学科 准教授 おぜき たかこ 小関 孝子
8	統計学	1月18日(日) 14:00～15:30 1月28日(水) 14:00～15:30 2月8日(日) 14:00～15:30	気象データと統計 気象庁が提供するいろいろな情報は、気象観測等のデータを活用して提供されています。また、その観測データなどについても気象庁 HP 上で見ることができます。データの宝庫と言っても良いでしょう。これらのデータを活用して統計を学び気象情報の理解を進めてみましょう。 ●1月18日：天気解説で言われる平年とは何でしょう。 ●1月28日：150 年前の東京の気温は現在のどの付近の気温と同じでしょうか。 ●2月8日：50 年後の東京の気温を統計手法で予測してみましょう。	NPO 法人環境防災 総合政策研究機構 上席研究員 たしろ せいじ 田代 誠司
9	天文学	2月5日(木) 14:00～15:30 2月12日(木) 14:00～15:30 2月19日(木) 14:00～15:30	人類の宇宙像—その過去・現在・未来— アリストテレスによって打ち立てられ、その後 2000 年もの間、人類の世界観を形づくっていた宇宙像が、如何に変遷をとげてきたのか、特殊から一般へと認識を変化させてきた宇宙像変遷の科学史と現代の宇宙観・物質観を紹介するとともに、これからの宇宙利用について展望します。 ●2月5日：アリストテレスからマルチバースの宇宙観まで ●2月12日：系外惑星と地球外生命体の探査について ●2月19日：有人宇宙飛行の歴史とこれから	教育科学館 学術顧問 いけべ やすし 池辺 靖